

# 立川第七中学校区 (西砂小学校、松中小学校、立川第七中学校)

〔小中連携のテーマ〕

## 自ら学び、自ら行動する、自立した子供たちの育成

〔ねらい〕

- 小・中9年間の教育活動により、自立した子どもたちを育てる。
- 「知・徳・体」の調和の取れた子どもたちを育てる。
- 七中校区スタンダードを共有、協働して取り組み、定着を図る。

〔今年度の取り組み〕

### 1 確かな学力の定着を図るための授業の工夫

#### 本年度の七中校区のテーマ ～「主体的・対話的で深い学びを目指した授業の工夫」

～学び合い(グループ学習・ペア学習)～ を通して、確かな学力の定着を図る。

◇今年度は校区の学校が集まることができなかったので、それぞれの小・中学校ごとに前年度と同様のテーマに沿った研究・実践を行う。

◇全校に導入されたタブレット PC を活用した授業を各校で行い、特に学び合い (グループ学習・ペア学習) や「深い学び」についての実践を蓄積し共有することで、今後の教育活動に生かしていく。

◇タブレット PC をさらに活用するために、デジタルドリルの導入実施を視野に入れ、学習内容の定着や学習に向かう新たなツールとして、その効果を検証し学校間で共有する。



出前授業(6年)

◇中学校教員による小学校6年生への出前授業を行う。(今年度は中止)

◇2月、立川第七中学校において生徒会主催による新入生説明会を実施する予定。

◇七中校区スタンダードを活用し、生活習慣(早寝・早起き・朝ごはん)や、授業規律の確立と家庭学習の定着に向けて小中で連携し指導している。(小学校は学年×10分以上、中学校は学年×60分)

### 2 「やさしい心」～人権教育、道徳教育、健全教育等に関すること～

◇七中校区スタンダード(生活面・学習面について3校で共通確認したもの)や「七中校区SNSルール」をもとに、家庭と協力しながら人権を尊重した指導等を継続して進めている。

◇西砂小学校・松中小学校とも同じ規準で同じ指導を受けることにより、中学校でも円滑に生活を送ることができるようにしている。

#### ◇七中校区SNSルール

- ① フィルタリングをかける。
- ② 時間を決めて使う。(小・中学校1日1時間まで)  
(午後9時までには止める)
- ③ 誹謗中傷・うわさ話・個人情報などは送らない。
- ④ 送信する前に、誤解を与える表現になっていないか文章を読み返す。
- ⑤ 見知らぬ人と連絡を取ったりやりとりをしたりしない。
- ⑥ 保護者に見られても困ることのない使い方をする。
- ⑦ 友達の家庭ルールも尊重する。

### 3 「個を輝かせ」～特別支援教育、キャリア教育、特色ある学校づくり等に関すること～

- ◇『立川市民科』の一環として、西砂小学校と松中小学校では、低学年から地域の農業に関する学習を行い、さらに、立川第七中学校では1年生が地域の農家の方を招いて農業の講演会を実施した。（農業体験は中止）
- ◇小学校6年生の立川第七中学校訪問時（2月に予定）に、第七中学校2年生の「職場体験」や、1年生の「農業体験」の報告会を行う予定。第七中学校2年生が、西砂小学校と松中小学校で「職場体験」を行う。（今年度は中止）
- ◇「立川夢・未来ノート」を小学校1年生から中学校3年生まで継続して使用し、9年間を見通したキャリア教育を実施している。



農業講演会(中1)

### 4 「社会のために」～社会性の育成、生き方を考える力・実践力の育成、開かれた学校づくり等に関すること～

#### 9年間の接続した立川市民科

◇農業体験と職場体験等を通して、地域を知り、地域を愛し、地域や社会に貢献する市民を育成する。

「松明祭り」や「町民運動会」などの地域行事への参加

麦プロ2「麦刈り・うどん作り」（6年）

農業体験（中1）・職場体験（中2）

お茶摘み・野菜栽培（4年）

麦プロ1「麦まき」「麦踏み」（5年）

じゃがいも・さつまいも博士（2年）

食べ物博士になろう（3年）



麦プロ1:麦まき(5年)

#### 〔取組の成果と課題〕

##### 1 成果

- ◇小中での教師間交流のツールの1つとして、タブレットPCを使用したテレビ会議システムを活用できるようになったので、教職員が情報交換の場として活用できた。
- ◇校務支援システムの構築により、小中の教員がシステム内の掲示板やメール等を利用して情報交換が以前に比べて迅速かつスムーズにできるようになった。
- ◇前年度末、6年生の立川第七中学校訪問が実施できなかったため、中学校の生徒会本部役員が「中学校紹介ビデオ」を作成し、6年生に視聴してもらった。中1ギャップの解消に繋がる取組になり、また、6年生は中学校入学に向けて期待感を膨らませることができた。

##### 2 課題

- ◇小中連携活動の視点で研究発表の成果を各校で振り返り、日々の実践の中で確実に実践し積み重ね3校のカリキュラム作成に活かしていく。
- ◇立川市民科の活動における小中の情報共有を深化させていく。（地域協力者一覧の作成）
- ◇立川市民科の内容や活動、小中連携の実施状況を保護者や地域に積極的に発信していく。
- ◇西砂川地域の教育力やネットワークを生かしたコミュニティ・スクールとして、地域と協働・連携して児童・生徒の育成を図り、保護者や地域の期待に応えていく。